

キューバ強制収容に名簿

戦中の親米政権下

第2次大戦中のキューバで、当時の親米政権の方針により強制収容所に入れられていた日系人約3500人の日本語の名簿が現存していることが30日までに分かった。収容目や出身県も書かれており、キューバの日系人収容の実態を伝える貴重な資料だ。(31面に関連記事)



多くのキューバの日系人の遺骨が安置されている、首都ハバナ市内の慰霊堂と墓地の管理人の男性(共同)

京滋4人 日系350人、死亡年月日も

日系2世でハバナの日系 商社勤務が10月にキューバを訪問した共同通信加盟 寛司さん(長野県出身、故人の遺品から見つけた。世、故内藤五郎さんで、1980年代に全土に散っていた元収容者約100人を訪ね歩き、手書きの名簿を

キューバ 米フロリダ半島から南約145キロのカリブ海に浮かぶ社会主義の島国。人口約1124万人。共産党の一党独裁で、キューバ革命を主導したフィデル・カストロ前国家評議会議長の弟ラウル・カストロ議長が国家元首。1492年にコロンブスが到達。1902年にスペインから独立した後には米国の干渉を受けたが、カストロ兄弟やアルゼンチン出身の医師チェ・ゲバラらがケリラ戦で59年に親米政権を打倒。61年に米国が断交を通告、キューバは社会主義路線を宣言した。公用語はスペイン語。

作った。共に移民史を取材していた記録作家、倉部きよたかさん(東京都在住)が整理してワープロで清書した。収容者の出身県別でみると最も多いのが熊本県で59人、次いで沖縄県の56

人、広島県42人。京都府は1人、滋賀県は3人だった。41年12月に旧日本軍の真珠湾攻撃が起きると、親米バティスタ政権は米国に追随し、全土の日系人約420人のうち18歳以上の男性約350人を逮捕、キューバ南部フベントウ島の刑務所に収容した。女性3人もハバナ郊外の刑務所に入れられた。拘束は戦後の46年3月ごろまで続いた。倉部さんの取材などによると、収容環境は劣悪で、粗末な食事にベッドもない状態。健康を害する人も多く、収容中に死者も出た。そんな中、日系人は収容所内で自治会を立ち上げ、生活改善を要求した。収容所生活が長引く中「運芸部」を結成し、歌や踊りの催しを開くなど、ささやかな娯楽で苦境を乗り切った。名簿には収容番号や自治会委員の肩書、収容中に亡くなった人の死亡年月日も記録されている。解放後、多くの日系人は財産を失っており、裸一貫で出直さざるを得なかった。さらに59年にキューバ革命が起き、社会主義政権下で私有財産が国有化された。ミヤサカさんは「フrazilやペルー、米国の日系人は成功して財産をなした人が多いが、キューバの日系人は皆質素に暮らしている」と話した。(ハバナ共同)

日系人強制収容 名簿現存

大戦中 親米政権下のキューバ



ミヤサカさんが提供したキューバの日系人収容者名簿のコピー（共同）

350人分 80年代 元収容者訪ね作成

第2次大戦中のキューバで、当時の親米政権の方針により強制収容所に入られていた日系人約350人の日本語の名簿が現存していることが30日までに分かった。収容日や出身県も書かれており、キューバの日系人収容の実態を伝える貴重な資料だ。

日系2世でハバナの日系人連絡会長フランシスコ・ミヤサカさん（81）が日本商社勤務が10月にキューバを訪問した共同通信加盟社説研究会に名簿コピーを提供した。名簿は父宮坂寛司さん（長野県出身、故人）の遺品から見つかった。作成したのは自身も収容された広島県出身の日系1世、故内藤五郎さんで、1980年代に全土に散っていた元収容者約1000人を訪ね歩き、手書きの名簿を作った。共に移民史を取材していた記録作家、倉部きよたかさん（東京都在住）が整理してワープロで清書した。収容者の出身県別で

みると最も多いのが熊本県で59人、次いで沖縄県の56人、広島県42人。愛媛出身者の名前はなかった。41年12月に旧日本軍の真珠湾攻撃が起きると、親米パテイスタ政権は米国に追随し、全土の日系人約420人のうち18歳以上の男性約350人を逮捕、キューバ南部フベントウ島の刑務所に収容した。女性3人もハバナ郊外の刑務所に入れられた。拘束は戦後の46年3月ごろまで続いた。倉部さんの取材などによると、収容環境は劣悪で、粗末な食事にベッドもない状態。健康を害する人も多

く、収容中に死者も出た。そんな中、日系人は収容所内で自治会を立ち上げ、生活改善を要求した。収容所生活が長引く中「演芸部」を結成し、歌や踊りの催しを開くなど、ささやかな娯楽で苦境を乗り切った。名簿には収容番号や自治会委員の肩書、収容中に亡くなった人の死亡年月日も記録されている。

解放後、多くの日系人は財産を失っており、裸一貫で出直さざるを得なかった。さらに59年にキューバ革命が起き、社会主義政権下で私有財産が国有化された。ミヤサカさんはブラジルやペルー、米国の日系人は成功して

財産をなした人が多いが、キューバの日系人は皆質素に暮らしていると話した。（ハバナ共同）中川千歳）受け継がれる価値



体験話さなかったフランシスコ・ミヤサカさんの話。父は収容中の体験を話したがらなかった。

キューバ日系人を巡る動き（日付は現地時間）

1614年	支倉常長率いる慶長遣欧使節団が日本人として初めてキューバ訪問
1898年	最初の日本人男性が移住したとキューバ紙が報道
1941年	旧日本軍が米ハワイの真珠湾を攻撃
10日	親米キューバ政府が日本に宣戦布告
12日	日系人の逮捕・収容開始
45年8月	太平洋戦争終結
46年3月	全ての日系人が収容所から解放
59年1月	キューバ革命
64年	ハバナ市内に日系人慰霊堂建立
2016年	最後の1世、島津三一郎さん＝7月10日 新潟県出身＝が108歳で死去

非常につまらかったのだろう。収容中の3年間、母と私も父親には全く会えなかった。貧しくて刑務所に訪ねに行くことはできなかった。（戦争と）関係のない日系人を収容所に入れた当時の親米政権はひどかったと思う。現在キューバの日系2世で日本語を話せる人は私以外におらず、3世、4世は日本人としてのアイデンティティをほとんど持っていない。キューバの日系人は人数が少ないこともあり実態が知られていない。（名簿で）歴史を知ってもらえればうれしい。

キューバ収容所に日系人

戦時の親米政権下名簿現存

男性56人女性も1人か

第2次大戦中のキューバで、当時の親米政権の方針により強制収容所に入れられていた日系人約350人の日本語の名簿が現存していることが30日までに分かった。収容者の出身県別でみると最も多いのが熊本県で59人、次いで沖縄県の56人、広島県42人。名字から沖縄県関係とみられる女性1人も記されている。収容日や出身県も書かれており、キューバの日系人収容の実態を伝える貴重な資料だ。

日系人350人分作成

日系2世でハバナの日系人連絡会会長フランシスコ・ミヤサカさん(78)が日本商社勤務IIが10月にキューバを訪問した共同通信加盟社説研究会に名簿コピーを提供した。名簿は父宮坂寛司さん(長野県出身、故人)の遺品から見つかった。作成したのは自身も収容された広島県出身の日系1世、故内藤五郎さんで、1980年代に全土に散っていた元収容者約1000人を訪ね歩き、手書きの名簿を作った。共に移民史を取材していた記録作家、倉部きよたかさん(東京都在住)

キューバの強制収容所にいた沖縄県出身者名簿(敬称略)

- ▽1942年4月16日収容 山入端万栄
- ▽同年4月21日収容 上原幸三
- ▽同年11月24日収容 崎原金永、玉城徳太
- ▽43年2月11日収容 西新門政光、大城牛、渡久地政則、照屋松吉、宮城当清、玉城徳吉、山城仁弘、玉城徳蔵、赤比地亀三、石川文助、赤比地政芳、伊波清孝、嶺井武彦、津波古千松、石川久吉、松田安定、上間利清、玉栄樽良、又吉誠喜、伊波清一、内間武五郎
- ▽同年2月23日収容 仲宗根勝吉、饒平名知政、饒平名知栄、我喜屋得寿、伊波伝助、又吉加那、宮城友吉、仲程清四郎、玉城賢盛、系数宗信、大城亀、仲宗根幸春、大城寛順、石川善俊、平良徳平、渡久地政平、饒平名知嗣、永峰松男、上原牛治、上原亀次郎、上原徳一、上原亀康、上原亀三、内間善五郎、上間嘉昇、石川加那
- ▽同年2月末日収容 大兼久安吉
- ▽同年3月26日収容 山入端久郎、遠山亀吉
- ▽同年5月収容 高嶺賢陽、玉城賢吉
- ▽女性の収容者(県名はないが名字から沖縄関係者と思われる) 山入端マリア



戦時中のキューバの日系人収容者名簿を保有するフランシスコ・ミヤサカさん

随し、全土の日系人約420人のうち18歳以上の男性約350人を逮捕、キューバ南部フベントウ島の刑務所に収容した。女性3人もハバナ郊外の刑務所に入れられた。拘束は戦後の46年3月ごろまで続いた。

キューバ日系人を巡る動き(日付は現地時間)

1614年	支倉常長率いる慶長遣欧使節団が日本人として初めてキューバ訪問
1898年	最初の日本人男性が移住したとキューバ紙が報道
1941年	旧日本軍が米ハワイの真珠湾を攻撃
10日	親米キューバ政府が日本に宣戦布告
12日	日系人の逮捕・収容開始
45年8月	太平洋戦争終結
46年3月	全ての日系人が収容所から解放される
59年1月	キューバ革命
64年	ハバナ市内に日系人慰霊堂建立
2016年	最後の1世、島津三一郎さん=7月10日 新潟県出身=が108歳で死去

倉部さんの取材などによると、収容環境は劣悪で、粗末な食事にベッドもない状態。健康を害する人も多く、収容中に死者も出た。

そんな中、日系人は収容所内で自治会を立ち上げ、生活改善を要求した。収容所生活が長引く中「演芸部」を結成し、歌や踊りの催し

女性3人例外的に収容

女性や子どもも含む家族で強制収容所に送られた米国人と異なり、キューバでは女性を対象とならなかったが、例外的に3人が収容された。うち新潟県出身の本間サクヤさん(故人)は、女性や子どもも含む家族で強制収容所に送られた米国人と異なり、キューバでは女性を対象とならなかったが、例外的に3人が収容された。うち新潟県出身の本間サクヤさん(故人)は、

間さんと日系2世の女性、山入端マリアさん(沖縄県関係者とみられる)ら2人で、彼がいなければキューバ移民のことはほとんど知られずに終わっていただろう。

全土歩いた記録

キューバ移民についてまとめた「峠の文化史」(1989年)の著者、倉部きよたかさんの話。日系キューバ人の収容者名簿は内藤五郎さんが80年代に、当時100人近く健在だったキューバ全土の日系1世を訪ね歩いてまとめた。内藤さんの努力は大変なもので、彼がいなければキューバ移民のことはほとんど知られずに終わっていただろう。

を聞くなど、ささやかな娯楽で苦境を乗り切った。名簿には収容番号や自治会委員の肩書、収容中に亡くなった人の死亡年月日も記録されている。

解放後、多くの日系人は財産を失っており、裸一貫で出直さざるを得なかった。59年にキューバ革命が起き、社会主義政権下で私有財産が国有化。ミヤサカさんは「ブラジルやペルー、米国の日系人は成功して財産を築いた人が多いが、キューバの日系人は皆質素に暮らしている」と話した。

妻や子どももの生活も苦しかった。一家の大黒柱を失い、スペイン語もほとんど話せない女性が農業やクリーニング業などで生計を立てた。

キューバ 戦時中收容の日系人 名簿350人分見つかる

第2次大戦中のキューバで、当時の親米政権の方針により強制收容所に入れられていた日系人約350人の日本語の名簿が現存していることが30日までに分かった。收容日や出身県も書かれており、キューバの日系人收容の実態を伝える貴重な資料だ。

日系2世でハバナの日系人連絡会会長フランシスコ・ミヤサカさん(78)が10月にキューバを訪ね歩き、手書きの名簿を作った。作成したのは広島県出身の日系1世で、自身も收容された故内藤五郎さん。1980年代に全土に散らばった元收容者約100人を訪ね歩き、手書きの名簿を作り、共に移民史を取材していた記録作家、倉部きよたかさん(東京都在住)が

整理してワープロで清書した。收容者の出身県別で見ると最も多いのが熊本県で59人、次いで沖縄県の56人、広島県42人。本県出身者はいなかった。

41年12月に旧日本軍の真珠湾攻撃が起きると、親米バティスタ政権は米国に追随し、全土の日系人約420人のうち18歳以上の男性約350人を逮捕、キューバ南部フベントウ島の刑務所に收容した。拘束は戦後の46年3月ごろまで続いた。

状態。健康を害する人も多く、收容中に死者も出た。そんな中、日系人は收容所内で自治会を立ち上げ、生活改善を要求した。收容所生活が長引く中「演芸部」を結成し、歌や踊りの催しを開くなど、ささやかな娯楽で苦境を乗り切った。名簿には收容番号や自治会委員の肩書、收容中に亡くなった人の死亡年月日も記録されている。

解放後、多くの日系人は財産を失っており、裸一貫で出直さざるを得なかった。さらに59年にキューバ革命が起き、社会主義政権下で私有財産が国有化された。ミヤサカさんは「ブラジルやペルー、米国の日系人は成功して財産をなした人が多いが、キューバの日系人は皆質素に暮らしている」と話した。(ハバナ共同)

キューバ

日系350人強制収容

第2次大戦 親米政権下 日本語名簿見つかる

第2次大戦中のキューバで、当時の親米政権の方針により強制収容所に入れられていた日系人約350人の日本語の名簿が現存していることが30日までに分かった。収容日や出身県も書かれており、キューバの日系人収容の実態を伝える貴重な資料だ。

日系2世でハバナの日系人連絡会会長フランシスコ・ミヤサカさん(78)が、10月にキューバを訪ねた佐賀新聞社など共同通信加盟社論説研究会に名簿コピーを提供した。名簿は父宮坂寛司さん(長野県出身、故人)の遺品から見つかった。

全土訪ね歩いた記録

キューバ移民についてまとめた「峠の文化史」(1989年)の著者、倉部きよたかさんの話。日系キューバ人の収容者名簿は内藤五郎さんが80年代に、当時は100人近く健在だったキューバ全土の日系1世を訪ね歩いてまとめた。内藤さんの努力は大変なもので、彼がいなければキューバ移民のことはほとんど知られずに終わってしまう。私たちは収容者名簿の作成、情報となった「移民名簿」も作らなかつた。最近キューバの日系1世の動きが、ルーツ探しの目的のために受け継がれる価値があると思う。

作成したのは自身も収容された広島県出身の日系1世、故内藤五郎さんで、1980年代に全土に散っていた元収容者約1000人を訪ね歩き、手書きの名簿を作った。共に移民史を取材していた記録作家、倉部きよたかさん(東京都在住)が整理してワープロで清書

した。収容者の出身県別でみると最も多いのが熊本県で59人、次いで沖縄県の56人、広島県42人、佐賀県は1人だった。41年12月に旧日本軍の真珠湾攻撃が起きると、親米パテイスタ政権は米国に追随し、全土の日系人約420人のうち18歳以上の男性

約350人を選捕、キューバ南部フベントウ島の刑務所に収容した。女性3人もハバナ郊外の刑務所に入れられた。拘束は戦後の46年3月ごろまで続いた。倉部さんの取材などによると、収容環境は劣悪で、粗末な食事にベッドもない状態。健康を害する人も多

く、収容中に死者も出た。そんな中、日系人は収容所内で自治会を立ち上げ、生活改善を要求した。収容所生活が長引く中「演芸部」を結成し、歌や踊りの催しを開くなど、ささやかな楽しみを創り出した。名簿には収容番号や自治会委員の肩書、収容中に亡

くなった人の死亡年月日も記録されている。解放後、多くの日系人は財産を失っており、裸一貫で出直さざるを得なかった。さらに59年にキューバ革命が起き、社会主義政権下で私有財産が国有化された。ミヤサカさんは「ブラジルやペルー、米国の日系

人は成功して財産をなした人が多いが、キューバの日系人は皆質素に暮らしている」と話した。(ハバナ共同)中川千歳





東京スカイツリーの北東約1キロにあり「新東京都密集市街地」に指定されている東京都墨田区京島2丁目。道幅が狭く、古い住宅が立ち並ぶ。

危険解除 地域差大きく

また、指定地区の安全性向上のため、利害関係を調整して合意形成を図るよう、国は住民とつくる協議会の設置を勧めているが、5都府県の27地区は未設置だった。

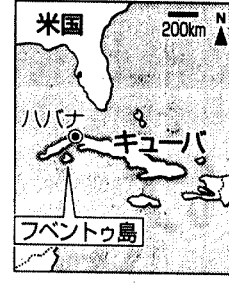
「地震時に著しく危険な密集市街地」は国が2020年度末までの解消を目指しているが、進捗(しんちょく)には地域差がある。大規模開発で解消が進む首都圏に比べ、京阪神などは遅れがち。劇的

な数値の改善が見込めなくても被害を最小限に抑えようとする取り組み自治体もある。阪神大震災(1995年)の教訓から国は密集市街地の解消に本腰を入れ始めた。当初は大規模な火災が起る恐れがある地区だけが対象だったが、現在は大火の他、建物の倒壊などで道がふさがり、避難が難しくなる恐れがある。

キューバ 強制収容の名簿発見

戦時中の日系人350人分

第2次大戦中のキューバで、当時の親米政権の方針により強制収容所に入れられていた日系人約350人の日本語の名簿が現存していることが30日までに分かった。収容日や出身県も書かれており、キューバの日系人収容の実態を伝える貴重な資料だ。



米国 キューバ フロリダ半島

ヤサカさん(78)は日本商社勤務が10月にキューバを訪ねた共同通信加盟社説説研究員に名簿コピーを提供した。名簿は父宮坂寛司さん(長野県出身、故人)の遺品から見つかった。

キューバ、米フロリダ半島から南約145キロのカリブ海に浮かぶ社会主義の島国。人口約1124万人。共産党の一党独裁で、キューバ革命を主導したフィデル・カストロ前国家評議会議長(弟ラウル・カストロ議長)が国家元首。1992年にカストロが去った。19902年にスペインから独立した後は米国の干渉を受けたが、カストロ兄弟やアルゼンチン出身の医師チェ・ゲバラらがゲリラ戦で50年に親米政権を打倒。61年に米国の断交を通告。キューバは社会主義路線を宣言した。公用語はスペイン語。(共同)

湾攻撃が起きると、親米パテスタ政権は米国に追随し、全土の日系人約420人のうち18歳以上の男性約350人を逮捕、キューバ南部ペントゥ島の刑務所に収容した。女性3人もハバナ郊外の刑務所に入れられた。拘束は戦後の46年3月ごろまで続いた。倉部さんの取材などによると、収容環境は劣悪で、粗末な食事にベッドもない状態。健康を害する人も多く、収容中に死者も出た。そんな中、日系人は収容所内で自治会を立ち上げ、生活改善を要求した。収容所生活が長引く中、演芸部」を結成し、歌や踊りの催しを開くなど、ささやかな娯楽で苦境を乗り切った。

また市内に11地区ある一著しく危険な密集市街地を市の担当者と住人が歩き、ハザードマップを作製している。袋小路や空き地は一目瞭然。路地は道幅に応じて色分けし、災害時の集集場所は写真で示した。住人に配布し、市のホームページで公開もしている。

京都市が20年度末までに「著しく危険な密集市街地」をゼロにするのは現実的には難しいとみられる。その代わり「地域防災力を高め、災害時に避難できるようにする」(担当者)のが目標だ。

キューバ日系人を巡る動き (日付は現地時間)

1614年	支倉常長率いる長遣使節団が日本人として初めてキューバ訪問
1898年	最初の日本人男性が移住したとキューバ紙が報道
1941年	旧日本軍が米ハワイの真珠湾を攻撃
10日	親米キューバ政府が日本に宣戦布告
12日	日系人の逮捕・収容開始
45年8月	太平洋戦争終結
46年3月	全ての日系人が収容所から解放される
59年1月	キューバ革命
64年	ハバナ市内に日系人慰霊堂建立
2016年	最後の1世、島津一郎さん(7月10日)新潟県出身=108歳で死去

作家の村上春樹氏 授賞式でスピーチ アンデルセン文学賞



作家の村上春樹さん

【オーデンセ共同】デンマークの「ハンス・クリスチャン・アンデルセン文学賞」の今年の受賞者に選ばれた作家の村上春樹さんは30日、童話作家アンデルセンの出身地、デンマーク・オーデンセでの授賞式でスピーチする。

三井住友海上火災保険が12年ぶりに自動車保険の保険料を値下げすることが30日分かった。若者の車離れを食い止めるため、25歳以下は1

つた人の死亡年月日も記録されている。解放後、多くの日系人は財産を失っており、裸一貫で直直ざるを得なかった。さらに50年にキューバ革命が起き、社会主義政権下で私有財産が国有化された。ミヤサカさんは「ブラジルやペルー、米国の日系人は成功して財産を築いた人が多いが、キューバ

女性3人も収容 (ハバナ共同) 中川千歳 女性や子どもも含む家族で強制収容所に送られた米国人など、キューバでは女性は対象とならなかったが、例外的に3人が収容された。うち新潟県出身の本間サカヤさん

バの日系人は皆質素に暮らしている」と話した。

「故人」は、フィリピンで多くの米兵が犠牲となった「バタ」の死の行進の責任を負わされた本間雅晴中将(同)の関係者と誤解されたという。実際には同姓というだけで全く関係はなかった。本間さんと日系2世の女性2人は、ハバナ郊外の収容所にドイツ人女性と共に収容された。

同賞はアンデルセンが世界の作家に与えた影響をたたえる目的で2007年に創設された。受賞者は村上さんで5人目。過去には「ハリ・ポッター」シリーズで著名な英作家J・K・ローリングさんも

受賞式に出席し、スピーチする。同賞委員会では昨年11月に村上さんへの授賞を発表。「古典的な語り口やポップカルチャー、日本の伝統、夢のような現実、哲学的議論を大胆に融合させた力量はアンデルセンの功績の継承者にふさわしい」と評価した。

年間で平均5%程度安くなる。全体では平均1%程度の引き下げとなる。来年1月以降の契約から適用する。損害保険各社は、損害保険

大戦中のキューバ・日系人

收容名簿見つかる

350人分、実態を記録

第2次大戦中のキューバで、当時の親米政権の方針により強制收容所に入れられていた日系人約350人の日本語の名簿が現存していることが30日までに分かった。收容日や出身県も書かれており、キューバの日系人收容の実態を伝える貴重な資料だ。

日系2世でハバナの日系人連絡会会長フランシスコ・ミヤサカさん(78)＝日本商社勤務＝が10月にキューバを訪問した共同通信加盟社説研究会に名簿コピー

キューバ日系人を巡る動き (日付は現地時間)

1614年	支倉常長率いる慶長遣欧使節団が日本人として初めてキューバ訪問
1898年9月	最初の日本人男性が移住したとキューバ紙が報道
1941年12月7日	旧日本軍が米ハワイの真珠湾を攻撃
10日	親米キューバ政府が日本に宣戦布告
12日	日系人の逮捕・收容開始
45年8月	太平洋戦争終結
46年3月ごろ	全ての日系人が收容所から解放される
59年1月	キューバ革命
64年	ハバナ市内に日系人慰霊堂建立
2016年7月10日	最後の1世、島津三一郎さん＝新潟県出身＝が108歳で死去

広島県42人。41年12月に旧日本軍の真珠湾攻撃が起きると、親米バティスタ政権は米国に追随し、全土の日系人約420人のうち18歳以上の男性約350人を逮捕、キューバ南部フベントウ島の刑務所に收容した。女性3人もハバナ郊外の刑務所に入れられた。拘束は戦後の46年3月ごろまで続いた。

倉部さんの取材などによると、收容環境は劣悪で、粗末な食事にベッドもない状態。健康を害する人も多く、收容中に死者も出た。そんな中、日系人は收容所内で自治会を立ち上げ、生活改善を要求した。收容所生活が長引く中「演芸部」を結成し、歌や踊りの催しを開くなど、ささやかな娯楽で苦境を乗り切った。

名簿には收容番号や自治会委員の肩書、收容中に亡くなった人の死亡年月日も記録されている。解放後、多くの日系人は財産を失っており、裸一貫で出直さざるを得なかった。さらに59年にキューバ革命が起き、社会主義政権下で私有財産が国有化された。(ハバナ

共同＝中川千蔵

全土訪ね歩いた記録

キューバ移民についてまとめた「峠の文化史」(1989年)の著者、倉部きよたかさんの話。日系キューバ人の收容者名簿は内藤五郎さんが80年代に、当時は100人近く健在だったキューバ全土の日系1世を訪ね歩いてまとめた。内藤

さんの努力は大変なもので、彼がいなければキューバ移民のことはほとんど知られずに終わっていただろう。私たちは收容者名簿のベースとなった「移民者名簿」も作成、そこには日系1世のより詳細な情報がある。最近キューバの日系3世にルーツ探しの動きが出ており、それらの目的のためにも名簿は受け継がれる

価値があると思う。

父、收容体験話せず

フランシスコ・ミヤサカさんの話。父は收容中の体験を話したがらなかった。非常につらかったのだから。收容中の3年間、母と私も父親には全く会えなかった。貧しくて刑務所に訪ねに行くことはできなかった。(戦争と)関係のない

イタリア中部

地震が相次ぐ

建物倒壊、20人負傷

【ローマ共同】米地質調査所(USGS)によると、イタリア中部ノルチャ付近で30日午前7時40分(日本時間同日午後3時40分)ごろ、マグニチュード(M)6.6の地震があった。防災当局によると約20人が負傷したが命に別条はなく、死者も確認されていない。

同じ地域では26日夜にも、M5以上の地震が相次いで起きたばかり。防災当局は地震の規模をM6.5とし、1980年に同国南部を襲った地震以降、最大規模と発表した。ANSA通信によると、当時は29



30日、イタリア中部ノルチャで、崩れた壁(右奥)のそばに立つ修道女ら(ロイター＝共同)

9月の有効求人倍率と完全失業率は、回復。安倍政権は雇用情勢に関し「着実にれも改善し、企業が働き手の確保に四苦八苦している」(菅義偉官房長官)と苦している。有効求人倍率は1.38倍と、強調するが、非正規で雇われる人が多い。景気の足踏みをききと25年ぶりの高水準を、め安定した正社員への道は依然険しい。

正社員の道は険し

朴氏の親友、聴取へ

欧州から帰国

韓国 国政介入疑惑

【ソウル共同】韓国の朴槿恵大統領(64)の親友の崔順実氏(60)による国政介入疑惑を巡り、検察は30日、崔氏に31日午後3時(日本

素を認めるよう求めたが大統領府は応じず、書類を任意提出した。崔氏は弁護士を通じ、自分の行動のために国民に

見4割

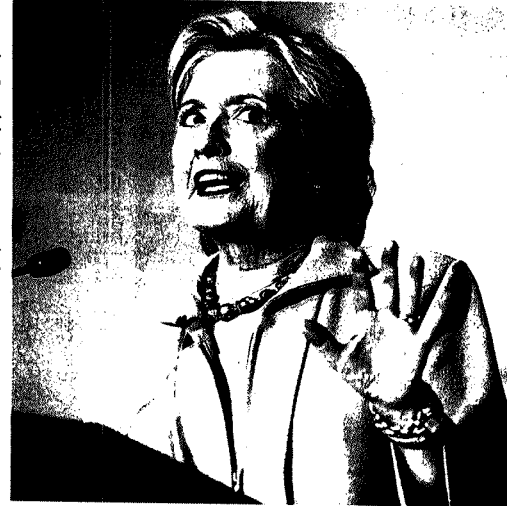
府で検査
任した疑
察OBの
席秘書
による

「イスラム国」
（IS）の拠点、イラ
ク北部モスルの奪還作
戦で、イランの影響力
が強いイスラム教シー
ア派民兵組織「人民動
員隊」が29日、モスル

攻撃を始めた。イラク
軍などが北、東、南の
3方面から進撃する
中、シーア派民兵が本
格的に参戦、西部でも
戦線が開かれることで
戦闘は激しさを増しそ

【間】

28日付
に捜査再
はフロ
を前
（再捜
るみに出
なこと
心してい
BIは
が国民
と訴え
は電話
開には
指摘し
コロラ



29日、米フロリダ州での集会で、メール問題について話すクリントン氏 (AP共同)

ド州での集会で、クリントン氏が私用メールサーバーを設置していたのは「悪事が国民にばれないようにするためだ」と主張。「司法省はクリントン氏を守るのに必死だ」とも語

首相続投決定
3度目の下院選挙回避

昨年12月の下院選後、ともに単独過半数を大きく割り込んだ二

シリア派民兵はイラクの安全に脅威となる場所にはどこへでも選作戦の際にスンニ派住民を拷問したとの疑いもあり、モスルやその周辺でも宗派間の対立感情が悪化する懸念が高まっている。最大

シリア内戦ではロシアのほか、イランやイラクの安全に脅威となる場所にはどこへでも行く」とも強調。シリアでアサド政権軍と共闘する計画もあると述べた。

【カイロ共同】内戦状態のイエメンで29日、62人が死亡、イエメン

第2次大戦中のキューバで、当時の親米政権の方針により強制収容所に入れられていた日系人約350人の日本語の名簿が現存していることが30日までに分かった。収容日や出身県も書かれており、キューバの日系人収容の実態を伝える貴重な資料だ。

日系2世でハバナの日系人連絡会長、フランシスコ・ミヤサカさん(78)は日本社勤務が10月にキューバを訪問した共同通信加盟社論説研究会に名簿コピーを提供した。名簿は父、宮坂寛司さん(長野県出身、故人)の遺品から見つかった。

作成したのは広島県出身の日系1世で、自身も収容された故内藤五郎さん。1980年代に全土に散っていた元収容者約1000人を訪ね歩き、手書きの名簿を作り、共に移民史を取材していた記録作家、倉部きよたかさん(東京都在住)が整理し

強制収容の日系人
350人の日本語名簿

キューバでワープロで清書した。収容者の出身県別でみると最も多いのが熊本県で59人、次いで沖縄県の56人、広島県42人。本県は2人。

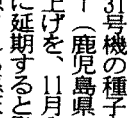
41年12月に旧日本軍の真珠湾攻撃が起きると、親米バティスタ政権は米国に追従し、全土の日系人約420人のうち18歳以上の男性約350人を逮捕、キューバ南部フベントウ島の刑務所に収容した。女性3人もハバナ郊外の刑務所に入れられた。拘束は戦後の46年3月ごろまで続いた。

倉部さんの取材などによると、収容環境は劣悪で、粗末な食事にベツドもない状態。健康を害する人も多く、収容中に死者も出た。そんな中、日系人は収容所内で自治会を立ち上げ、生活改善を要求した。収容所生活が長引く中「演芸部」を結成し、歌や踊りの催しを開くなど、さまざまな娯楽で苦境を乗り切った。

ばし、社会労働党の85、新興の急進左派・ポテ

と、連立与党の一角を占める中道右派の独立党が2議席増の21議席

延期 三菱重工... 空研究開発機構... は30日、気象衛星... 9号を載せたH2... 31号機の種子島... ター(鹿児島県)... ち上げを、11月1... 日に延期すると... 子とされる悪天候



国中

米と向き合う歴史複雑

県人移民暮らしたキューバ

米国との国交回復や安倍首相の初訪問などで注目を集めているのが、中米のキューバだ。人口は約1124万人。北朝鮮と友好関係にある社会主義国で、近年は開発特区を設け、外国企業の誘致を目指す。戦前には本県から多くの

移民が渡り、離れた交流が残る。共同通信加盟社論説研究会訪問団の一員として見た「カリブ海の真珠」キューバは、米国と向き合ってきた複雑な歴史を感じさせる地だった。(論説編集委員長・森沢真理)



故島津三一郎さん

強制収容者の名簿発見 苦難の人生に思いはせ



フランシスコ 宮坂さん



「私は漢字があまり読めません。誰が作ったか分からないのですが」
首都ハバナ市のレストラン「日系人連絡会会長のフランシスコ宮坂さん(78)が取り出した名簿に、目を奪われた。日本語で収容者名簿と活字が打たれている。全部で9枚。第2次世界大戦中に、強制収容所に入れられた日系人のリストだ。
「入らずに収容番号が振られ、出身県と暮らした部屋の階が書かれている」
■
宮坂さんは日系2世で、両親が長野県出身だ。9月に安倍首相が訪問した際、ハバナの日系人憲章について説明をしてくれたこともある。
■
キューバの日系人は沖縄、広島、福岡、熊本、新潟県の出身が多い。私の父も3年間収容所に入れられた。

たどっていく。「あ」と声が出た。収容番号245の横に「島津三郎」の名があったのだ。
■
新発田市五ヶ野出身の島津さんは最後の日系1世戦時難民で、最後の日系1世戦時難民の28年、先にキューバへ渡った。親類に呼ばれて農業移民となった。
■
日系人が多く住んでいたラベンツ島青年の島で暮らした。この7月に108歳で亡くなった。
■
宮坂さんは52年、ある日系人と呼ばれて島で過ごした。島津さんに会った。
■
「非常に面白くて、気が良かった。奥に乗ると、軍艦マシーチを歌い出すこともあった。生誕、独身で財産は限りをこした老人ホームに寄付した」

地元ジャーナリストによると、三一郎に音が似た「ミゲル」の名で呼ばれ愛されていたという。



キューバ・ラベンツ島の日系人が強制収容された建物内部(又エバロ共同)2002年4月30日



米国との国交回復を経てキューバは観光ブーム。古い建物が残る旧市街には米国人などから多くの観光客が訪れる=10月7日



本間さんは北浦出身。パターンの行進で知られる本間雅晴陸軍中将の関係者と思われるらしいが、実名が同じだった。
■
「酔」によれば、収容所では9人がじくじくだったが、うち3人が本県関係者だった。2次戦でたつ井止敵難さんは引き取った。心臓まで息を引き取った。先の見えない生活が心と体をむしばんだのだろうか。

収容棟は凶悪犯を収監していたラベンツ島の刑務所一角に建てられた。男性の日系人350人は2ヶ月で収容された。
■
女性はハバナ西郊のカンパの日系人は約1100人。5世までいる。
■
宮坂さんによれば、キューバの日系人は約1100人。5世までいる。
■
「日本の血を引くことを誇りに思うが私はキューバに。祖国を愛しています。米国により国民生活が抑圧された。革命前のキューバに戻ってほしい」

収容者名簿 日系1世の男性作成

名簿の作り手は、帰国後の取材で日系1世の内藤五郎さん(故人・広島県出身)と判明した。キューバの日系人がテーマの映画を作り、内藤さんを知る渡野哲朗・東京造形大名誉教授(映像学)が教えてくれた。
■
内藤さんは日系移民の記録を残したいとの思いが強かった。「キューバ移民の多くはメキシコから入った。外務省の扱いはメキシコ移民。キューバの記録は少ない。こうした名簿は唯一ではないか」
■
倉部さんは1980年代にキューバで内藤さんに会い、名簿を見せてもらった。「内藤さんは若いころ仕事を探して国内中を歩き、大半の日系人を知っていた。日系人連絡会の会長を務め、名簿は宮坂さんの世に伝わった。名簿は宮坂さんにある本県関係者はの通り」

開発特区進む外国企業誘致

首都ハバナから西へ約450km。高速道を走るとマリエル開発特区が見えてくる。
■
2013年11月に開発が始まり、インフラ整備では過去最大といえるプロジェクトだ。特区の中にあるマリエル港にはコンテナターミナルが造成されている。その先は青く輝く海だ。
■
各区画に盛り土がされ、資材を積んだタンクカーが行き交う。重機も目立つ。
■
「特区を中米カリブ海の物流ハブにしたいと考えている。物流サービス業はもちろん、わが国が高い技術を持つバイオテクノロジーと医療、そして製造業の進出に期待している」
■
マリエル開発特区の外国企業誘致担当「テレシタ・トルヒョシヨさん(56)はこやかに語る。

昨年7月に米国と国交を回復したとはいえ、経済制裁は続いており、物資不足に苦しむ「亡命」による人材流出や人口減も悩んだ。
■
観光は主要産業の一つだが、それによる外貨収入は債

経済活性化へ物流ハブ構想



造成が進むマリエル開発特区 10月7日

権国への金利返済に充てられ、国民には還元されていない。
■
特区に外資を入れて経済を活性化するとともに、国内で必要な物資を製造し、産品としてキューバへ輸出すること、オートメーション化で人口減に対応する。そうした狙いがある。
■
特区にはキューバ企業との合併を促す。18社が進出を決めている。
■
外資はヘルギーやメキシコ、ブラジルなどだ。税制上の優遇措置が受けられるほか、コパジルなどだ。税制上の優遇措置が受けられるほか、コパジルなどだ。
■
だが共産党一党の社会主義体制の下、ビジネス面での課題が多いのも確かだ。
■
進出企業は労働者を直接雇用できない。外国人とキューバ人の間では「二通貨制度」があり、正確な経済数値の把握が難しい。
■
政治面でキューバに日本が期待するのは、北朝鮮の核ミサイル発射や日本拉致問題の解決に向けた支援だ。
■
キューバは北朝鮮と関係が深く、高度な外交能力を持つ。キューバ日本大使館の渡辺健大使は「キューバ側と意見交換し、一生懸命やっていきたい」と語る。

外資100%の企業設立も可能という。
■
「安倍首相、岸田文雄外相も訪問してくれた。日本からの投資促進には追い風だ」
■
日本政府は1800億円(対日債務の3分の2)に当たる1200億円を免除することでキューバ側を意欲させた。米国の影響力が増す前に、未開拓の市場であるキューバとの関係強化を狙う。日本は少なくない中国などが攻勢を強める中、日本も手をこまねいては行かないとの事情がある。

キューバ収容所に日系人

戦時の親米政権下名簿現存

男性56人女性も1人か

第2次大戦中のキューバで、当時の親米政権の方針により強制収容所に入れられていた日系人約350人の日本語の名簿が現存していることが30日までに分かった。収容者の出身県別でみると最も多いのが熊本県で59人、次いで沖縄県の56人、広島県42人。名字から沖縄県関係とみられる女性1人も記されている。収容日や出身県も書かれており、キューバの日系人収容の実態を伝える貴重な資料だ。



戦時中のキューバの日系人収容者名簿を保有するフランシスコ・ミヤサカさん

日系人350人分作成

日系2世でハバナの日系人連絡会会長フランシスコ・ミヤサカさん(78)が日本商社勤務が10月にキューバを訪ねた共同通信加盟社論説研究会に名簿コピーを提供した。名簿は父宮坂寛司さん(長野県出身、故人)の遺品から見つかった。作成したのは自身も収容された広島県出身の日系1世、故内藤五郎さんで、1980年代に全土に散っていた元収容者約100人を訪ね歩き、手書きの名簿を作った。共に移民史を取材していた記録作家、倉部きよたかさん(東京都在住)

が整理してワープロで清書した。41年12月に旧日本軍の真珠湾攻撃が起きると、親米バティスタ政権は米国に追

キューバの強制収容所にいた沖縄県出身者名簿(敬称略)

- ▽1942年4月16日収容 山入端万栄
- ▽同年4月21日収容 上原幸三
- ▽同年11月24日収容 崎原金永、玉城徳太
- ▽43年2月11日収容 西新門政光、大城牛、渡久地政則、照屋松吉、宮城当清、玉城徳吉、山城仁弘、玉城徳蔵、赤比地亀三、石川文助、赤比地政芳、伊波清孝、嶺井武彦、津波古千松、石川久吉、松田安定、上間利清、玉栄樽良、又吉誠喜、伊波清一、内間武五郎
- ▽同年2月23日収容 仲宗根勝吉、饒平名知政、饒平名知栄、我喜屋得寿、伊波伝助、又吉加那、宮城友吉、仲程清四郎、玉城賀盛、系数宗信、大城亀、仲宗根幸春、大城寛順、石川善俊、平良徳平、渡久地政平、饒平名知嗣、永峰松男、上原牛治、上原亀次郎、上原徳一、上原亀康、上原亀三、内間善五郎、上間嘉昇、石川加那
- ▽同年2月末日収容 大兼久安吉
- ▽同年3月26日収容 山入端久郎、遠山亀吉
- ▽同年5月収容 高嶺賀陽、玉城賀吉
- ▽女性の収容者(県名はないが名字から沖縄関係者と思われる) 山入端マリア

キューバ日系人を巡る動き(日付は現地時間)

1614年	支倉常長率いる慶長遣欧使節団が日本人として初めてキューバ訪問
1898年	最初の日本人男性が移住したとキューバ紙が報道
1941年	旧日本軍が米ハワイの真珠湾を12月7日攻撃
10日	親米キューバ政府が日本に宣戦布告
12日	日系人の逮捕・収容開始
45年8月	太平洋戦争終結
46年3月	全ての日系人が収容所から解放される
59年1月	キューバ革命
64年	ハバナ市内に日系人慰霊堂建立
2016年	最後の1世、島津三一郎さん=7月10日 新潟県出身=が108歳で死去

女性3人例外的に収容

女性や子どもも含む家族で強制収容所に送られた米国と異なり、キューバでは女性を対象とならなかったが、例外的に3人が収容された。うち新潟県出身の本間サクヤさん(故人)は、

倉部さんの取材などによると、収容環境は劣悪で、粗末な食事にベッドもない状態。健康を害する人も多く、収容中に死者も出た。

フィリピンで多くの米兵が犠牲となった「バターン死の行進」の責任を負わされた本間雅晴中将(同)の關係者と誤解されたというだけ。実際には同姓というだけで全く関係はなかった。本間さんと日系2世の女性、山入端マリアさん(沖縄県関係者)とみられるら2人は、ハバナ郊外の収容所にドイツ人女性と共に収容された。

そんな中、日系人は収容所内で自治会を立ち上げ、生活改善を要求した。収容所生活が長引く中「演芸部」を結成し、歌や踊りの催し

を聞くなど、ささやかな娯楽で苦境を乗り切った。名簿には収容番号や自治会委員の肩書、収容中に亡くなった人の死亡年月日も記録されている。

解放後、多くの日系人は財産を失っており、裸一貫で出直さざるを得なかった。59年にキューバ革命が起き、社会主義政権下で私有財産が国有化。ミヤサカさんは「ブラジルやペルー、米国の日系人は成功して財産をなした人が多いが、キューバの日系人は皆質素に暮らしている」と話した。

全土歩いた記録 キューバ移民についてまとめた「峠の文化史」(1989年)の著者、倉部きよたかさんの話。日系キューバ人の収容者名簿は内藤五郎さんが80年代に、当時は100人近く健在だったキューバ全土の日系1世を訪ね歩いてまとめた。内藤さんの努力は大変なもので、彼がいなければキューバ移民のことはほとんど知られずに終わっていたであろう。



私の一点

僕の目ちから

(東京都) 仲地 亜希 32歳

2016.10.31 沖縄タイムス

第2次大戦中 親米政権が350人逮捕

キューバに日系人収容名簿

第2次大戦中のキューバで、当時の親米政権の方針により強制収容所に入れられていた日系人約350人の日本語の名簿が現存していることが30日までに分かった。収容日や出身県も書かれており、キューバの日系人収容の実態を伝える貴重な資料だ。

(ハバナ共同)

広島出身1世作成 中国地方は59人



日系2世でハバナの日系人連絡会会長フランシスコ・ミヤサカさん(78)が10月にキューバを訪問した中国新聞など共同通信加盟社論説研究会に名簿コピーを提供した。名簿は父宮坂寛司さん(長野県出身、故人)の遺品から見つかった。作成したのは自身も収容された広島県安村(現広島市)出身の日系1世、故人藤五郎さんで、1980年代に全土に散っていた元収容者約1000人を訪ね歩き、手書きの名簿を作った。共に移民史を取材していた記録作家、倉部きよたかさん(東京都在住)が整理してワープロで清書した。収容者の出身県別でみると最も多いのが熊本県で59人、次いで沖縄県の56人、広島県42人。中国地方はそのほ

クリック

キューバ 米フロリダ半島から南約145キロのカリブ海に浮かぶ社会主義の島国。人口約1124万人。共産党の一党独裁で、キューバ革命を主導したフィデル・カストロ前国家評議会議長、弟ラウル・カストロ

議長が国家元首。1492年にコロンブスが到達。1902年にスペインから独立した後は米国の干渉を受けたが、カストロ兄弟やアルゼンチン出身の医師チェ・ゲバラらがゲリラ戦で59年に親米政権を打倒。61年に米国の断交を通告、キューバは社会主義路線を宣言した。公用語はスペイン語。

女性や子どもも含む家族で強制収容所に送られた米国と異なり、キューバでは女性は対象とならなかったが、例外的に3人が収容された。うち新潟県出身の本間サクヤさん(故人)は、フィリピンで多くの米兵が犠牲となった「パターン死の行進」の責任を負わされた本間雅晴中将(同)の関係者と誤解されたという。

実際には同姓というだけで全く関係はなかった。本間

例外的に女性3人も

さんと日系2世の女性2人は、ハバナ郊外の収容所にドイツ人女性と共に収容された。

収容されずに家に残った妻や子どもの生活も苦しかった。一家の大黒柱を失い、スペイン語もほとんど話せない女性が農業やクリーニング業などで生計を立てた。フランシスコ・ミヤサカさんは、母親が作った毛織み物を買ってくれたり、仕事を探したりしてくれた「周りのキューバ人に助けられた」と振り返る。

歴史知ってほしい

フランシスコ・ミヤサカさんの話。父は収容中の体験を話したがらなかった。非常につらかったのだらう。収容中の3年間、母と私も父親には全く会えなかった。貧しくて刑務所に訪ねに行くことはできなかった。(戦争と)関係のない

日系人を収容所に入れた当時の親米政権はひどかったと思う。現在キューバの日系2世で日本語を話せる人は私以外におらず、3世、4世は日本人としてのアイデンティティをほとんど持っていない。キューバの日系人は人数が少ないこともあり実態が知られていない。(名簿で)歴史を知ってもらえればうれしい。

か、山口県8人、鳥取県7人、岡山県2人だった。41年12月に旧日本軍の真珠湾攻撃が起きると、親米パティスタ政権は米国に追随し、全土の日系人約42

0人のうち18歳以上の男性約350人を逮捕、キューバ南部フベントウ島の刑務所に収容した。女性3人もハバナ郊外の刑務所に入れられた。拘束は戦後

キューバ日系人を巡る動き (日付は現地時間)

1614年*	支倉常長率いる慶長遣欧使節団が日本人として初めてキューバ訪問
1898年*	最初の日本人男性が移住したと9月 キューバ紙が報道
1941年*	旧日本軍が米ハワイの真珠湾を12月7日 攻撃
10日*	親米キューバ政府が日本に宣戦布告
12日*	日系人の逮捕・収容開始
45年8月*	太平洋戦争終結
46年3月*	全ての日系人が収容所から解放される
59年1月*	キューバ革命
64年*	ハバナ市内に日系人慰霊堂建立
2016年*	最後の1世、島津三一郎さん=7月10日 新潟県出身=が108歳で死去

の46年3月ごろまで続いた。倉部さんの取材などによると、収容環境は劣悪で、粗末な食事にベッドもない状態。健康を害する人も多く、収容中に死者も出た。そんな中、日系人は収容所内で自治会を立ち上げ、生活改善を要求した。収容所生活が長引く中「演習部」を結成し、歌や踊りの催しを開くなど、ささやかな娯楽で苦境を乗り切った。名簿には収容番号や自治会委員の肩書、収容中に亡くなった人の死亡年月日も記録されている。解放後、多くの日系人は財産を失っており、裸一貫で出直さざるを得なかった。さらに59年にキューバ革命が起き、社会主義政権下で私有財産が国有化された。ミヤサカさんは「ブラジルやペルー、米国の日系人は成功して財産を築いた人が多いが、キューバの日系人は皆質素に暮らしている」と話した。

キューバが350人強制収容

戦時中、日系人の名簿現存



第2次大戦中のキューバで、当時の親米政権の方針により強制収容所に入れられていた日系人約350人の日本語の名簿が現存していることが30日までに分かった。収容日や出身県も書かれており、キューバの日系人収容の実態を伝える貴重な資料だ。



ミヤサカさんが提供したキューバの日系人収容者名簿のコピー

人連絡会会長フランシスコ・ミヤサカさんが10月にキューバを訪問した共同通信加盟社論説研究会に名簿コピーを提供した。

野原出身、故郷は父宮坂寛司さん(長男)の遺品から見つかった。作成したのは自身も収容された広島県出身の日系1世、故内藤五郎さんで、1

キューバ日系人を巡る動き(日付は現地時間)

1614年	支倉常長率いる慶長遣欧使節団が日本人として初めてキューバ訪問
1898年9月	最初の日本人男性が移住したとキューバ紙が報道
1941年12月7日	旧日本軍がハワイの真珠湾を攻撃
10日	親米キューバ政府が日本に宣戦布告
12日	日系人の逮捕・収容開始
45年8月	太平洋戦争終結
46年3月ごろ	全ての日系人が収容所から解放される
59年1月	キューバ革命
64年	ハバナ市内に日系人慰霊堂建立
2016年7月10日	最後の1世、島津三一郎さん(新潟県出身)が108歳で死去

980年代に全土に散っていた元収容者約1000人を訪ね歩き、手書きの名簿を作った。共に移民史を取材していた記録作家、倉部きよたかさん(東京都在住)が整理してワープロで清書した。収容者の出身県別でみると最も多いのが熊本県で59人、次いで沖縄県の56人、広島県42人。本県出身者はいなかった。41年12月に旧日本軍の真

珠湾攻撃が起きると、親米パティスタ政権は米国に追随し、全土の日系人約420人のうち18歳以上の男性約350人を逮捕、キューバ南部フベントウ島の刑務所に収容した。女性3人もハバナ郊外の刑務所に入れられた。拘束は戦後の46年3月ごろまで続いた。倉部さんの取材などによると、収容環境は劣悪で、質素に暮らしている」と話した。(ハバナ共同)

状態。健康を害する人も多く、収容中に死者も出た。そんな中、日系人は収容所内で自治会を立ち上げ、生活改善を要求した。収容所生活が長引く中「演芸部」を結成し、歌や踊りの催しを開くなど、ささやかな娯楽で苦境を乗り切った。名簿には収容番号や自治会委員の肩書、収容中に亡くなった人の死亡年月日も記録されている。

キューバ 第2次大戦中強制収容

日系350人名簿が現存

第二次大戦中のキューバで、当時の親米政権の方針によって強制収容所に入れられていた日系人約三百五十人の日本語の名簿が現存していることが明らかになった。収容日や出身県も書かれており、キューバの日系人収容の実態を伝える貴重な資料だ。

日系二世でハバナの日系人連絡会長フランシスコ・ミヤサカさん（モ）日本商社勤務の父、宮坂寛治さん（長野県出身）の遺品から名簿が見つかった。

作成したのは広島県出身の日系一世で、自身も収容された故内藤五郎さん。一九八〇年代に全土に散っていた元収容者を訪ね歩き、手書きの名簿を作り、共に移民史を取材していた記録作家、倉部きよたかさん（東京都在住）が整理して清書した。収容者の出身県別で最も多いのが熊本県で五十九人、次いで沖縄県の五十六人、広島県四十二人。

四一年十二月に旧日本軍の真珠湾攻撃が起きると、親米バティスタ政権は米国に追従。日系人約四百二十人のうち十八歳以上の男性約三百五十人を逮捕、キューバ南部フベントウ島の刑務所に収容した。女性三人もハバナ郊外の刑務所に入れられた。拘束は戦後の四六年三月ごろまで続いた。

名簿には収容番号や自治会委員の肩書、収容中に亡くなった人の死亡年月日も記録されている。

（ハバナで、北島忠輔）

親米政権下のキューバ

強制収容所の日系人名簿

第2次大戦中 350人分、道内2人

第2次大戦中のキューバで、当時の親米政権の方針により強制収容所に入れられていた日系人約350人の日本語の名簿が現存していることが30日まで分かった。収容日や出身県も書かれており、キューバの日系人収容の実態を伝える貴重な資料だ。

日系2世でハバナの日系人連絡会会長フランシスコ・ミヤサカさん(78)は日本商社勤務が10月にキューバを訪問した共同通信加盟社論説研究会に名簿コピーを提供した。名簿は父宮坂寛司さん(長野県出身、故人)の遺品から見つかった。作成したのは自身も収容された広島県出身の日系1

世、故内藤五郎さんと、1980年代に全土に散っていた元収容者約100人を訪ね歩き、手書きの名簿を作った。共に移民史を取材していた記録作家、倉部きよたかさん(東京都在住)が整理してワープロで清書した。収容者の出身県別でみると最も多いのが熊本県で59人、次いで沖縄県の56

人、広島県42人。

北海道は、42年11月24日収容として「小林留八」「水野国穂」の2人の氏名が記載されている。

41年12月に旧日本軍の真珠湾攻撃が起きると、親米バティスタ政権は米国に追随し、全土の日系人約420人のうち18歳以上の男性約350人を逮捕、キューバ南部フベントウ島の刑務所に収容した。女性3人もハバナ郊外の刑務所に入れられた。拘束は戦後の46年3月ごろまで続いた。倉部さんの取材などによ

ると、収容環境は劣悪で、粗末な食事にベッドもない状態。健康を害する人も多く、収容中に死者も出た。そんな中、日系人は収容所内で自治会を立ち上げ、生活改善を要求した。収容所生活が長引く中「演芸部」を結成し、歌や踊りの催しを開くなど、ささやかな娯楽で苦境を乗り切った。

名簿には収容番号や自治会委員の肩書、収容中に亡くなった人の死亡年月日も記録されている。

解放後、多くの日系人は財産を失っており、裸一貫で出直さざるを得なかった。さらに59年にキューバ革命が起き、社会主義政権下で私有財産が国有化された。ミヤサカさんは「ブラジルやペルー、米国の日系人は成功して財産をなした人が多いが、キューバの日系人は皆質素に暮らしている」と話した。(ハバナ共同)